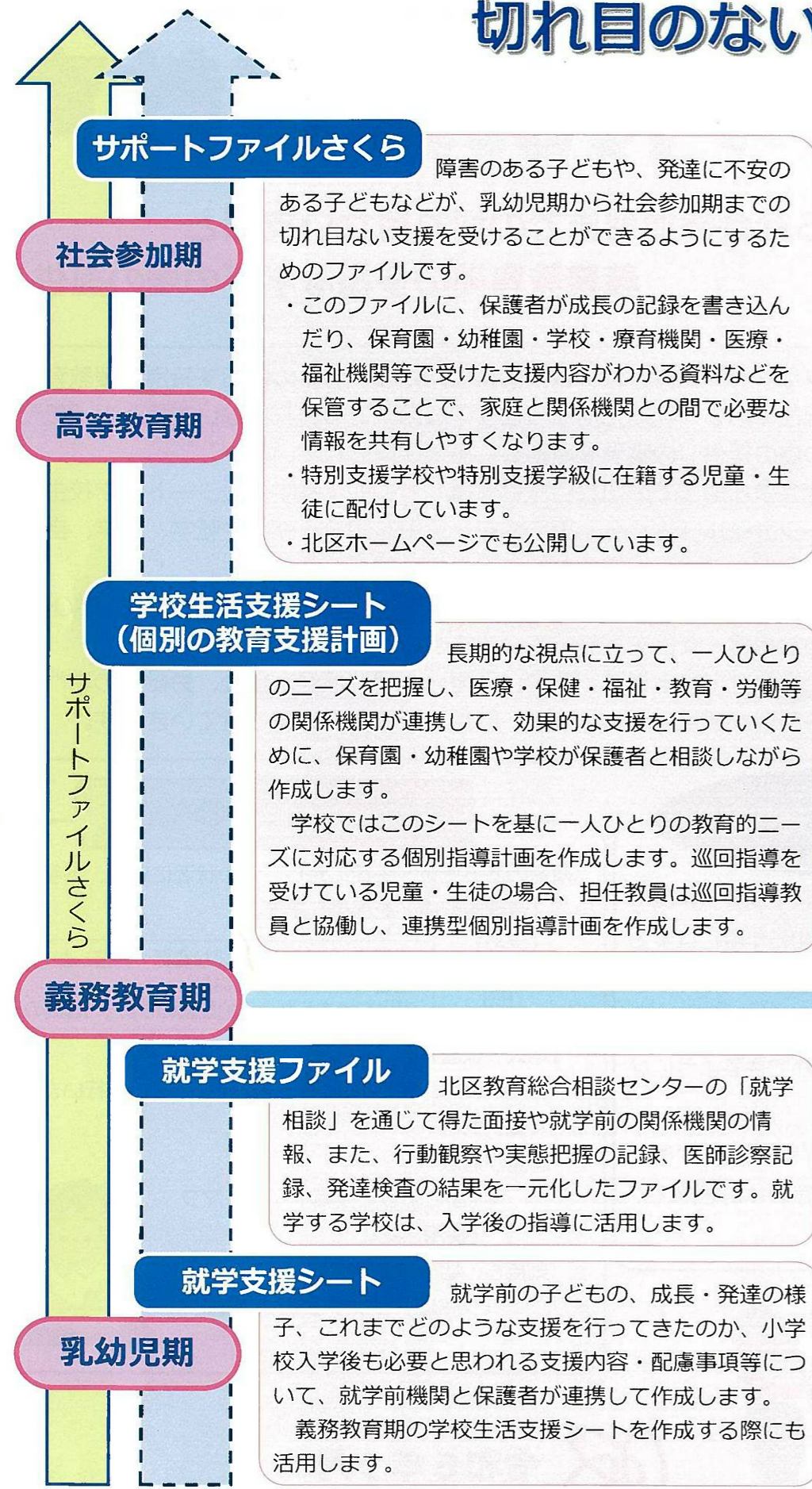


# 乳幼児期から社会参加期までの 切れ目のない支援



## サポートファイルさくら

障害のある子どもや、発達に不安のある子どもなどが、乳幼児期から社会参加期までの切れ目のない支援を受けることができるようにするためのファイルです。

- このファイルに、保護者が成長の記録を書き込んだり、保育園・幼稚園・学校・療育機関・医療・福祉機関等で受けた支援内容がわかる資料などを保管することで、家庭と関係機関との間で必要な情報を共有しやすくなります。
- 特別支援学校や特別支援学級に在籍する児童・生徒に配付しています。
- 北区ホームページでも公開しています。



## 学校生活支援シート (個別の教育支援計画)

長期的な視点に立って、一人ひとりのニーズを把握し、医療・保健・福祉・教育・労働等の関係機関が連携して、効果的な支援を行っていくために、保育園・幼稚園や学校が保護者と相談しながら作成します。

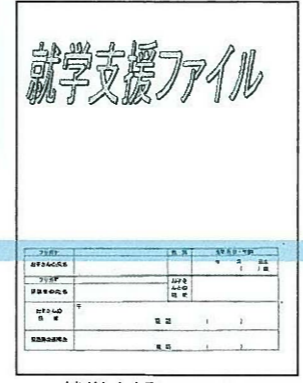
学校ではこのシートを基に一人ひとりの教育的ニーズに対応する個別指導計画を作成します。巡回指導を受けている児童・生徒の場合、担任教員は巡回指導教員と協働し、連携型個別指導計画を作成します。



学校生活支援シート  
(個別の教育支援計画)

## 就学支援ファイル

北区教育総合相談センターの「就学相談」を通じて得た面接や就学前の関係機関の情報、また、行動観察や実態把握の記録、医師診察記録、発達検査の結果を一元化したファイルです。就学する学校は、入学後の指導に活用します。



就学支援ファイル

## 就学支援シート

就学前の子どもの、成長・発達の様子、これまでどのような支援を行ってきたのか、小学校入学後も必要と思われる支援内容・配慮事項等について、就学前機関と保護者が連携して作成します。

義務教育期の学校生活支援シートを作成する際にも活用します。



就学支援シート

# 義務教育期の多様な学びの場



通常の学級に在籍し、一部特別な指導を必要とする児童・生徒が、在籍学級における障害による学習上または生活上の困難の改善・克服を図るため、一部の時間、別の教室で指導を受けられる制度です。

一人ひとりの障害の状態や発達の段階などに応じた指導目標を設定し、状況に応じたコミュニケーションに関することや、状況変化への対応、自分自身の理解と行動の調整に関すること、姿勢の保持、感覚や認知の特性に応じた学び方を身に付ける学習等を行います。

巡回拠点校の巡回指導教員が担当校を巡回するため、対象の児童・生徒は、在籍校で特別な支援を受けることができます。

**<対象となる児童・生徒>**

- 通常の学級に在籍し、知的障害がなく、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害のある児童・生徒
- 通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする児童・生徒

※指導の時間は、在籍学級での授業を抜けることとなります。そのため、保護者、学級担任や巡回指導教員など関係者が一丸となって「原則の指導期間（1年間）」内に、指導目標が達成されるよう連携・協力することが大切になります。

ことばやきこえに関して支援が必要な児童が、週1回程度ことば・きこえの教室が設置されている学校へ通い、個別指導を受けます。

ことばの教室では、正しい発音の仕方の練習や、吃音について正しく理解するための学習を行うなどしています。

きこえの教室では、聴力の確かめ、正しく聞き取る練習、発音練習などを行います。